

KURENAIが実現する オープンアクセス

西岡 千文（京都大学情報環境機構（兼・図書館機構））

京都大学研究データ管理シンポジウム「オープンサイエンスに
向けた研究データ管理支援の現状と課題」

2026年2月27日

KYOTO UNIVERSITY

京都大学



京都大学とオープンアクセス

- 2015年4月 「京都大学オープンアクセス方針」
 - 京都大学の教員は学術雑誌掲載論文（の著者最終稿等の電子コピー）を京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）で公開（グリーンオープンアクセス）
- 2019年6月 「京都大学学術情報リポジトリ運用指針」を改定
 - 登録範囲に「各種研究成果物の根拠となる研究データ」を追加
- 2020年3月 「京都大学研究データ管理・公開ポリシー」
 - 研究データを「知の基盤」と位置づけ、法・倫理的要件を守りつつ可能な限り公開・利活用を促進
- 2024年2月 内閣府「学術論文等の即時OAの実現に向けた基本方針」
 - 科研費等の対象となる競争的研究費を受給する研究者はその研究成果である査読付き学術論文と根拠データを原則として機関リポジトリで公開

京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI)

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/home>



- 京都大学の機関リポジトリとして2006年に運用開始
- 248,223件の研究成果を公開（2026/2/25時点）

京大の研究成果を世界へ発信

京都大学学術情報リポジトリ (KURENAI) では、京都大学で日々創造される研究・教育成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など）をWeb上で公開しています。世界的に卓越した知的成果を社会へ還元することを目的として、2006年から図書館機構が運営している事業です。

- 2025年にデザインをリニューアル
- Transparent Ranking of Repositories 2025の機関リポジトリ部門にて世界第6位、国内第1位
<https://doi.org/10.6084/m9.figshare.29099234>

KYOTO UNIVERSITY

ホーム > 検索

リポジトリ全体

リポジトリを検索します...

検索

田

検索結果

表示中 1 - 10 / 262927

アイテム

Lower Estimates of Dimensions for Quasi Periodic Orbits(NONLINEAR ANALYSIS AND CONVEX ANALYSIS)

1031-12.pdf(1.05 MB)

(京都大学数理解析研究所, 数理解析研究所講義録, 1031巻, 1998, p.110-125)
Naito, Koichiro; 内藤, 幸一郎; ナイトウ, コウイチロウ

アイテム

アーベル多様体のトーラス的退化 (代数幾何とその近傍)

0273-15.pdf(871.74 KB)

(京都大学数理解析研究所, 数理解析研究所講義録, 273巻, 1976, p.206-219)
浪川, 幸彦; NAMIKAWA, YUKIHIKO; ナミカワ, ユキヒコ

アイテム

男女大学生の家事・育児に対する意識調査

KenkoKagaku_12_1.pdf(897.58 KB)

(京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

絞り込み

著者 +

キーワード +

発行日 +

分類 +

資料種別 +

添付ファイルの有無 +

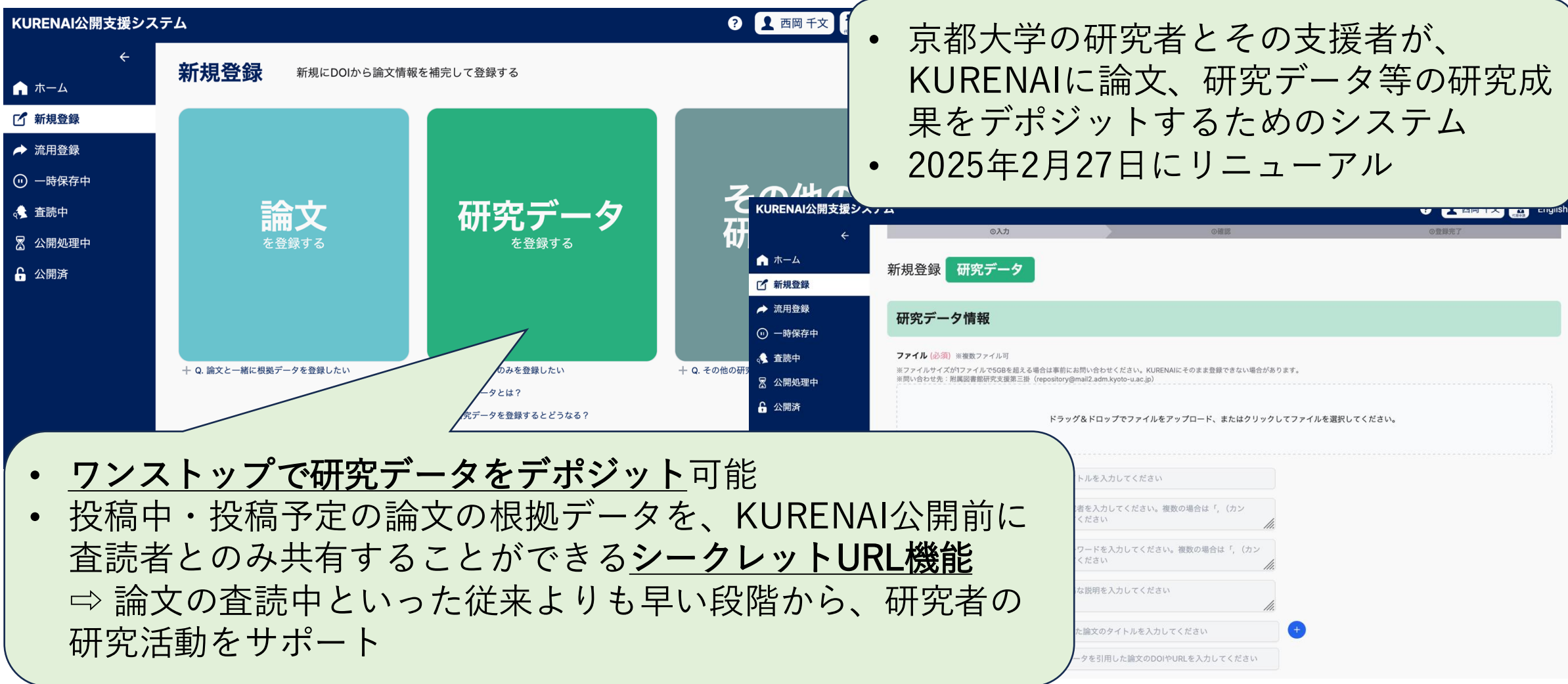
条件をリセット

設定

設定

KURENAI公開支援システム

<https://openaccess.kulib.kyoto-u.ac.jp/researcher/registration>



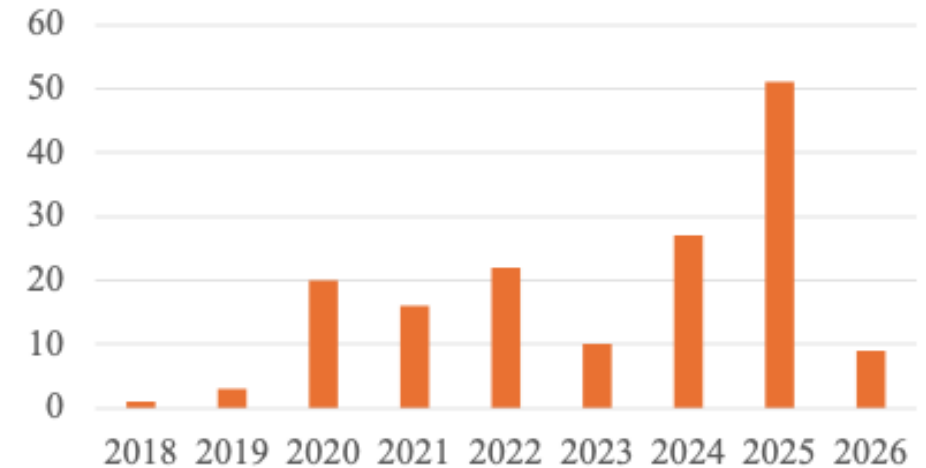
The screenshot displays the KURENAI registration system interface. On the left is a dark blue sidebar with navigation links: ホーム (Home), 新規登録 (New Registration), 流用登録 (Reuse Registration), 一時保存中 (Temporary Save), 査読中 (Under Review), 公開処理中 (Under Publication), and 公開済 (Published). The main content area is titled '新規登録' (New Registration) and includes the instruction '新規にDOIから論文情報を補完して登録する' (Register by supplementing paper information from DOI). It features three large colored buttons: a light blue button for '論文' (Paper), a green button for '研究データ' (Research Data), and a grey button for 'その他の研究' (Other Research). Below these buttons are three questions: '論文と一緒に根拠データを登録したい' (I want to register supporting data with the paper), '研究データを登録したい' (I want to register research data), and 'その他の研究データを登録したい' (I want to register other research data). A callout box points to the '研究データ' button with the text '研究データを登録するとどうなる?' (What happens when I register research data?). On the right, a smaller inset shows the '研究データ情報' (Research Data Information) form, which includes fields for 'ファイル' (File), 'タイトル' (Title), 'キーワード' (Keywords), '説明' (Description), '論文のタイトル' (Paper Title), and '論文を引用した論文のDOIやURLを入力してください' (Enter the DOI or URL of the paper citing this paper).

- 京都大学の研究者とその支援者が、KURENAIに論文、研究データ等の研究成果をデポジットするためのシステム
- 2025年2月27日にリニューアル

- ワンストップで研究データをデポジット可能
- 投稿中・投稿予定の論文の根拠データを、KURENAI公開前に査読者とのみ共有することができるシークレットURL機能
⇒ 論文の査読中といった従来よりも早い段階から、研究者の研究活動をサポート

KURENAIでの研究データの公開

- 2019年の「京都大学学術情報リポジトリ運用指針」の改定（登録範囲として研究データを追加）以降、増加傾向にある。
- 特にKURENAI公開支援システムをリニューアルした2025年には研究データの件数が大幅に増加している。
- 公開されている研究データ：日本語の研究データや分野別リポジトリがあまり整備されていない領域の研究データ
 - ⇒ 既存の基盤では受け皿となりにくい研究データ等、幅広い研究データの公開基盤として機能して、京都大学の多様な研究成果の発信に貢献



KURENAIの利用

- これまでに数多くダウンロード・利用されている。
- KURENAIでグリーンオープンアクセスとして公開された論文は、異分野からの被引用数を増加させる ⇒ 学際的研究に貢献
- 近年の傾向として、生成AIのプロンプト経由でのアクセスが増加している。

よく使用されている無料のPythonの教科書を教えて



Pythonを無料で学びたい方に、現在非常によく利用されている信頼性の高いオンライン教材を厳選して紹介します。

これらは大学の講義資料や、有志によるオープンソースのプロジェクトとして公開されており、書籍に匹敵する（あるいはそれ以上の）ボリュームと質を兼ね備えています。

1. 日本語で学べる定番の無料教材

まずは、日本の大学や研究機関が公開している「教科書」スタイル。基礎から体系的に学びたい方に最適です。

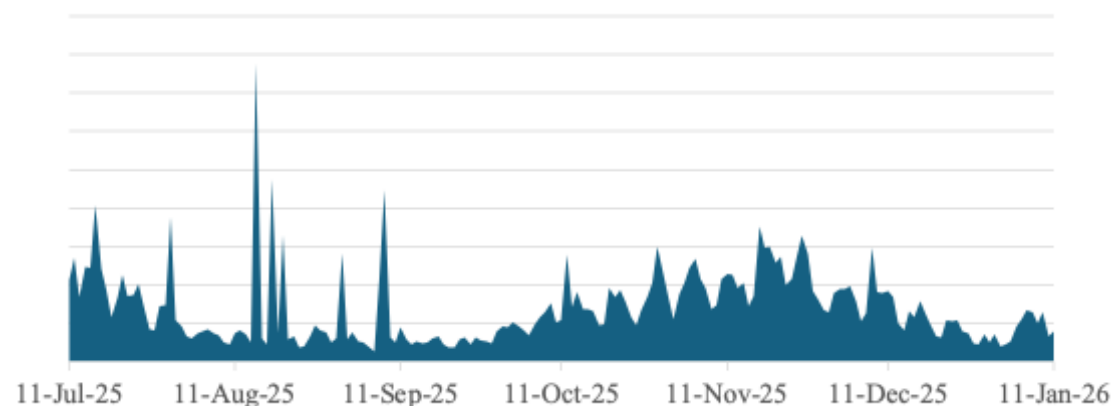
- [京都大学：プログラミング演習 Python](#)

- 特徴: 京都大学の全学共通科目で実際に使用されているPDF教材です。

- 内容: プログラミングの基礎から、データ構造、アルゴリズムまで、学術的かつ丁寧に解説されています。

- [東京大学：Pythonプログラミング入門](#)

- 特徴: 東大の「数理・データサイエンス教育プログラム」の一部として公開されています。



KURENAIの利用

- **グローバルなアクセスの拡大**：生成AI経由でのアクセスは海外からの割合が比較的高い

- 生成AI経由での海外からのアクセスの割合 54.19%
- その他の海外からのアクセスの割合 45.62%

⇒ 地理・言語の障壁を超えたコンテンツの利用の促進

- **利用されるコンテンツの多様化**：生成AI経由でアクセスされるコンテンツは、検索エンジン経由のものとは大きく異なる傾向

- google.com経由とyahoo.co.jp経由での各ファイルのアクセス数の相関：0.66
- google.com経由とChatGPT経由での各ファイルのアクセス数の相関：0.22

⇒ 利用されるコンテンツが多様化し、従来と異なる切り口で知的活動に貢献

まとめ

- 京都大学でははやくからオープンアクセス方針を採択するなど、論文と研究データのオープンアクセスに取り組んできた。
- 京都大学学術情報リポジトリ（KURENAI）が、オープンアクセスを実現するための基盤である。
 - 京都大学の多様な研究成果の発信に貢献
 - KURENAI公開支援システム ⇨ ワンストップでの研究データの公開
 - シークレットURL機能 ⇨ 早い段階から、研究者の研究活動をサポート
- KURENAIで公開された研究成果は多く利用されている。近年は生成AIを経由したアクセスが増加していて、従来よりも多様な研究成果にアクセスが広がっている。現在は生成AI経由では文献へのアクセスが中心である。
- 生成AI等多様なエージェントと研究データの関係の動向の注視を含めて、幅広い知的活動に貢献できるリポジトリとして発展させていきたい。